



令和 6 年度 PTA だより

令和7年2月号
富勢東小 PTA
PTA 本部

梅のつぼみがふくらみ、少しずつ春の訪れを感じる季節になりました。平素より、PTA 活動にご協力いただきありがとうございます。1月31日にPTA役員会を行いましたので、ご報告を兼ねて内容を共有いたします。

<議題>	<報告・行事予定等>	<連絡・その他>
1. 令和 7 年度 PTA 総会資料について	学校より 1. 教室の有効利用について 2. 情報モラルの授業を実施 3. 新入生にむけての準備 4. 学校評価アンケートについて	本部より 富勢地区に関する文書について
2. 令和 7 年度 PTA 役員選考について		

できるひとが、できるときに、できることを

先日、来年度のPTA役員募集のアンケートを実施しました。回答にご協力いただきましてありがとうございました。その中で、「PTAはどんな活動をやっているの?役員は何をしているの?」という声が届いたので、改めて共有したいと思います。

富勢東小のPTA活動は「できる人が、できるときに、できることをする」という考え方のもと、子どもたちの安全を守り、学校生活がより充実したものになるようにサポートをする役割を担っています。具体的に今年度は、PTA主催イベントの開催、スポーツフェスティバルやマラソン大会などの学校行事の保護者ボランティア、長期休校中の飼育ボランティア、新入生の登下校見守りパトロールを実施しました。

役員はいわばその調整役のような存在です。ただ、役員会では校長先生や教頭先生、他学年の役員の方と、子どもの学校生活等について話ができるので、より一層「富勢東小学校」に親しみを持つことができるかもしれません。

【役員の活動内容】

- ・ 役員会実施(年5~6回)。校長先生、教頭先生を交えて、子どもたちの学校生活や活動方針について意見交換をする。PTA予算の使い道や詳細等について相談する。
- ・ 学校行事(スポーツフェスティバルやマラソン大会等)の保護者ボランティアのとりまとめ、サポート
- ・ PTA会費の管理、役員会議事録やPTA便りの作成、発行

PTA会費は?

基本的な事務経費のほかは、主に学校予算では賄えない子どもたちの活動に充てています。今年度はシャボン玉アーティストを招いたほか、外部から講師を招いて性教育の授業を行ったり、音楽発表会で使った太鼓のバチを購入したりしました。

「仕事や家庭の事情で、PTA活動に協力できない!」と、思い悩む必要はありません。会員として、我が子の成長を見守るだけでも、十分なPTA活動であると考えています。

情報モラル講習会に参加して

1月21日に行われた情報モラル講習会、保護者の部に参加しました。スマホやタブレット使用による脳の発達や心身への影響、学力との関係、SNSや動画等との付き合い方について学びました。依存による人格の崩壊や、意図せず犯罪に導かれていく話など、なかなか強烈な実例も織り交ぜられており、我が子に対して、そして同時に自分自身に対しても身につまされる学びとなりました。

学校懇談会では、「いつからスマホを持たせるか」が話題に挙がりました。既に子どもにスマホを持たせている、スマホが欲しいと子どもからせがまれている、まだ先だけれどもいざれば…など、様々な立場のご家庭の保護者の方から意見をうかがい、意見交換をしました。子育ての先輩である校長先生の話も、とても勉強になりました。

もちろん便利なスマホですが、それらが抱えるリスクについて、子どもだけではなく、大人だけではなく、親子がともに学び、危機意識をもって活用していくことが大事であり、自己管理能力と親子の信頼関係を育むことが何よりもベースであると感じました。同日、高学年・低学年それぞれで、情報モラルに関する授業を受けています。是非、どんな話があったのか、お子さんと話題にしてみてください。

スマホ等デジタル機器のトラブルというと、「いじめや人間関係」、「個人情報や出会い」、「SNS等への不適切投稿による炎上」、「金銭トラブル」等が挙げられます。これらのトラブルももちろん怖いです。子どもたちにきちんと指導しなければなりません。更に、依存症や学力への影響、心身の健康被害、特に脳への影響については、力を入れて啓発しなければならないと強く感じています。「リスクを知り、自己管理能力を育てる」ことがポイントだと思います。また、「いつでも話し合える親子関係」がスマホに限らず、子どもたちの健全育成の根底にあると感じます。何かと忙しい現代ですが、家庭でのコミュニケーションの時間を大切にすることが重要だと思います。

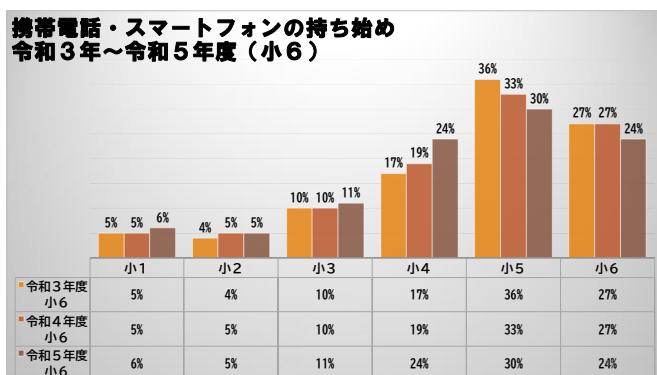
参考文献: 柿浩平(著)川島隆太(監修)『スマホはどこまで脳を壊すか』(朝日新聞出版)

資料提供: 磯村毅(スマホ依存防止学会)

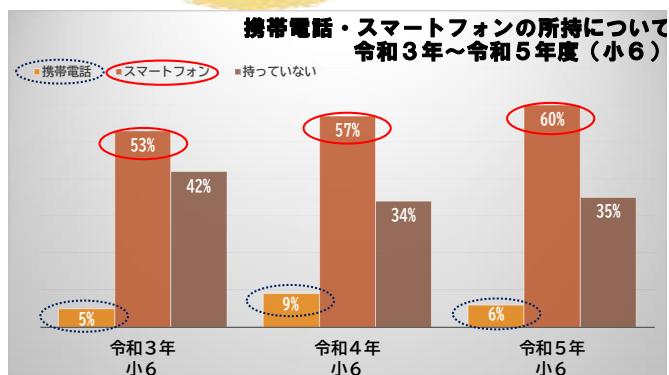


柏市少年補導センター
麻生先生より

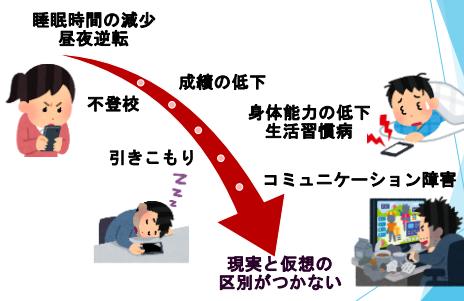
携帯電話・スマートフォンの持ち始め
令和3年～令和5年度（小6）



携帯電話・スマートフォンの所持について
令和3年～令和5年度（小6）



スマホ・ネット・ゲーム依存症



スクリーンタイムの影響

- ・神経伝達物質の調整不全
- ・前頭前野の活動抑制
- ・夜間の光、鮮やかな映像等の面からの刺激
- ・運動不足

スクリーン
タイムで起
ること

- ・ドーパミンの不自然な分泌
- ・睡眠の乱れ
- ・生活リズムの乱れ

影響

- ・うつ気分
- ・不注意
- ・攻撃性
- ・衝動性
- ・疲労
- ・意欲低下
- ・倦怠感

あらわれる
症状・障害

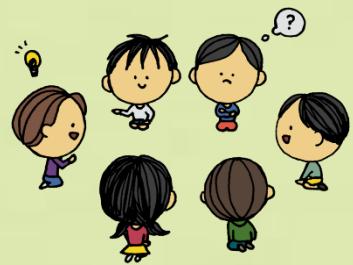
イエナプラン教育 ってなに？

校長先生にききました

ドイツで発祥したイエナプラン教育は、オランダで普及し、

日本でも 2010 年頃から関心が高まっています。

元々、私がイエナプラン教育に興味を持ったのは、イエナプラン教育がインクルーシブ（包括的）な教育だからです。異年齢で学級集団を構成し、一人一人の異なる個性に注目して、子ども主体の学びを進めていく、学校を知識伝達の教える場とするのではなく、子どもの発達の力を信じて育む場とするのが、イエナプラン教育の考え方です。



イエナプラン教育が広がっているオランダの若者の精神的幸福度は世界で 1 位です。この教育に魅力を感じたのはそんな理由もあります。この調査は、ユニセフが 2020 年にまとめた「イノチエンティ『レポートカード 16』」によるものです。日本の若者の精神的幸福度（生活満足度と自殺率で計算）は、調査対象国 38 カ国中ワースト 2 位です。不登校や小中学生の自殺、いじめの件数も過去最高という記録を更新し続けています。子ども達を幸せにするのが教育の使命であり、私は、日本の学校の在り方を見直す必要があると強く感じています。

12 月に、公立のイエナプラン教育認定校である広島県福山市立ともに学園へ視察に行ってきました。開校から 3 年目を迎えた同校で実際の様子を見たり、これまでの実践を伺ったりしてきました。異年齢の学級集団は、低学年 3 クラス、高学年 3 クラスあり、人数は本校より少し多くらいでした。教室は静かで穏やかな空気が流れ、お互いに学び合う姿に感銘を受けました。1 月に早速、本校でも試験的に異年齢での学習を行ってみました。普段とは異なる集団の中で、異年齢で教え合い学び合う姿が見られました。着任してからずっと、本校の強みは、縦割り活動にあると感じてきました。これからはそれを学習にも広げ、子ども達の可能性を最大限に引き出せるようにしていきたいと考えています。



富勢東小バレー部 仲間を募集しています！

活動日 毎週土曜日 14 時～17 時

場所 富勢東小学校 体育館

- ・ 経験者のかたはもちろん、
バレー部未経験のママさん、パパさん、大歓迎です！
- ・ お子さん連れでも大丈夫。一緒にボールで遊びましょう！
- ・ 参加できるときに参加する、でも OK！

まずはお気軽に見学にお越しください



ベルマークについて

夏休み後に回収して送付したベルマークの点数は、11,642点でした！

ご協力ありがとうございました。
これまでのストックと合算すると、92,417 円分あります。今後、購入する品について子どもたちと学校と相談して決めていく予定です。



先日第 5 回役員会を終え、本年度のPTA 役員としての任期もまとめの時期を迎えています。振り返ると、学校行事に加えて星を観る会や学校懇談会など、子どもたちと共に学ぶ機会に恵まれ、あっという間の 1 年でした。とくに、6 年生を中心企画してくれた学校かくれんぼは、「富勢東小らしさ」があふれてとても温かく素敵なものだったな、と改めて感謝の気持ちが湧き上がります。役員会では校長先生始め先生方や他学年の役員と意見交換することで、心強さと安心感を得られました。これからも、PTA一丸となり子どもたちの頑張りを縁の下の力持ちとしてサポートできればと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

今後の PTA 活動

- ・次年度への引き継ぎ
- ・総会資料の作成
- ・PTA 会計決算
- ・次年度 PTA 予算計画
- ・ベルマークでの購入品の検討